

教員養成機関（信州大学）×保護者団体（長野県PTA連合会）

実施日時	会場	概要
7月15日（火） 9:00～10:30 10:40～12:10	信州大学 松本 キャンパス	目的：教員を目指す学生と保護者団体が対話する場をもち、お互いの考えや想いを知ること 相互理解を深め、保護者と教員の良好な関係構築につなげるために開催 内容：①基調講演：テーマ「学校と保護者の関係について」 講演者：県PTA連合会会長 ②学生と保護者（PTA）とのグループワーク ※松本大学でも令和8年2月下旬に実施予定
10月15日（水） 15:00～17:00	信州大学 教育学部	

働き方改革（学校及び教員の本来あるべき業務や、業務負担を減らすために）

8月6日（水） 13:00～16:00	松本市立 博物館	目的：県教育委員会で、7月3日に多様な立場の関係者を集めて、学校現場の業務実態に係る意見交換を行い、子どもの学びをみんなで支える機運を醸成する「子どもの学びをトコトン支える県民の会」第1回会議が行われたことを受け、教育関係者など幅広く県民の皆様にも、学校（教員）を支えるために、何ができるかを考えていただくために開催 内容：①「子どもの学びをトコトン支える県民の会」第1回会議の振り返り ②グループワーク：学校（教員）を支えるために、私たちに何ができるかを考える
9月24日（水） 18:00～20:00	オンライン	目的：県教育委員会主催の「子どもの学びをトコトン支える県民の会」で議論を行った、「子どもの学びを支えるための学校の業務改善」に向けた県の取組に対する理解促進や、学校や教員の業務負担を減らすために何ができるのかを考えるために開催 内容：①県教育委員会の教員の働き方改革の取組紹介 ②グループワーク：学校の業務負担軽減に向けた県教育委員会の施策を活かし、共にできることを考える

フリースクール・居場所団体（信州フリースクール居場所等運営者連絡協議会）×保護者団体（長野県PTA連合会）

11月30日（日） 14:00～16:00	松本市浅間 温泉文化 センター	目的：フリースクール・居場所団体と保護者団体が対話し、お互いの考えや立場を知ること 相互理解を深め、「一人ひとりの子どもを支えるためにできること」を考えるために開催 内容：①各団体代表者から現状と課題について説明 信州フリースクール居場所等運営者連絡協議会代表・県PTA連合会会長 ②グループセッション：相互理解を深めるワークを通じて、団体や個人の垣根を越え、一人ひとりの子どもを共に支えるために何ができるかを考える
--------------------------	-----------------------	--

学びの新しい当たり前を ともに つくる

アイス
ブレイク/

① 大学生にとっての保護者・PTAのイメージは？

学校を手伝ってやる ベルマーク回収 ママさんバレー
学校施設や道などに 運動会の企画・手伝い
申し出 (行事) 忙しい
運営の裏方! ムズかしいことをエライ人か
式典などで話す PTA会費
→ 学校への想いも(学力など)

② PTA会長「学校と保護者の関係について」

昔 学校にまかせる ゴール=保護者はパートナー
今 みんなでつくる ex. コミュニティ
学校 ex. コミュニティ
様々な声 言葉・気持ち
不安 ストレスを感じる
事務業務 保護者対応
まずは知る (調査結果から)
共感 → 共感することによって応援できる
それぞれが答えを持っている
答えはたくさんある。
一緒に探し、答えにしていこう。
みんなが持つ光(答え)をもって
いっしょに考える
お互い知る努力を大切に
異なる光を照らし合う
それぞれのアイデア・答え

③ 理想を考えるグループワーク

保護者・学校の理想の関係とは?
↓
どちらも置かれている
環境が異なる
協力関係をつくる
実現するために必要なことは?
先生が全ては限界
できる人ができることをやる!
制度や環境が
変わりはできることは?
子どもの失敗にも
許容できる環境づくり
先生負担
業務改善
考える時間
関係を増やす
意見を集める!
学校だけが教育じゃない!
もっと広く多様
先生と保護者の
関係は
子どもにとっていい!
生徒が企画にもいい!!
みんなが答えを探すための
時間や場をつくる
みんなですべてのものを考える
できることを持ち寄り、どう関係りながらみんな育てていくか



(長野県の子どもたちにとって最適な学びのあり方)

→ 学びの「新しい当たり前」を共に創る

パートナー

城村会長「学校と保護者の関係について」



言葉の幸せに尽きたとき
その幸せとおして
私も幸せになれる
ex) ややさんアライバル

(以前) 学校まかせ

(今) 多様な声

お互い何か
何を想い、考えているか

向こう側の世界を想像する

高田孝敏
365日通塾
よろこぶ景色の向こうに
1周忌の人たちがいる

不安 = 知らない

同じことからでもストーリーを知ると
共感する力が増す

お互いを矢張り

どうやって?

ex) 不登校の子

答えをいっしょに探そう。見つけた答えを正解にしていこう。

あきらかに
まちがっている
と思う声のうらに

想いがあるかもしれない ⇒ 子どものために、いっしょに答えを探していく。

全部聞くには

1人じゃムズかしい...

1人で 背負いこまない!!

子どものこととなると
冷静になれないことも

先生から

「こんなクラス、学校にしたい」
を伝えて、分かってもらい
いっしょにつくっていく

知る

捉え直し

広げる

事務連絡から車座で話せるような場づくり
全体で話せない一旦おけたあとのゆるり場

時間少ない...

話せる場は必要!

中学校は保護者代表が司会もすること
(PTA)

先生と事前に話して決めることもある

話を聞きつつも
必ずしも「変えなくてもいい」

※ 全てを受け入れるわけじゃない

ゆるやかな
つながり

すでにあるもの 昔からの
新しいつながり

この開けなら
できる!

負担は
増やさない
開けて!

「現実」と「あるべき姿」に対する理解をを広げるためには?

先生と保護者の区別が
分からなくなるといいけど...

先生と保護者の区別が
分からなくなるといいけど...

先生と保護者の区別が
分からなくなるといいけど...

先生と保護者の区別が
分からなくなるといいけど...

先生と保護者の区別が
分からなくなるといいけど...

異なる立場から見る

欠かさない!!
応えん団

運営

二極化

ムズかしい要望
(一部だけ...)

これが「答えだ!!」ではなく、
(立場がちがう異なる光を。
結果だけじゃない

ex) 食の場? → 効率化だけだと
なくなっていく

(ex) カフェ・チャンネル

ガス抜きや折り合い

対立はしないように

みんな一律だと苦しい
(やりたい人セリたくな人)

任意の方が実は集まりやすい
→ まずは軽く集まるような ex) こんごう会とか
(お茶も飲みつつ)

ムリに
1つにしようんやなく
1人1人のやりたいを持ちよる (自然体でいられる)
強引じゃない 合意形成!!

方向性を
「やりたい」を持ち寄り、合わせていく

最終的には子どものこと・学びが軸になる

子どもたちの声を聞いて、なにができるかを共に考えていく

先生 子 保 見方

先生 子 保 見方

先生 子 保 見方

先生 子 保 見方

先生 子 保 見方

先生 子 保 見方

先生 子 保 見方

先生 子 保 見方

先生 子 保 見方

先生 子 保 見方

共に創る

いっしょに!

<アイスブレイク>

自己紹介

保護者・PTAにもっている印象

実習時に...
保着者×先生の
信頼関係

この不安もある

実際にしているのか? (PTA)

コミュニケーションは大事!!

保着者 PTA 先生

初任に
できる?

心の
よゆうも

忙しい先生にその
時間はある?

今は求められるレベルが高いかも
先生の立場が低くなってほう...

守らないと。そういう体勢が大切。

立場・役割は大切
先生は指導のアロ

学校の役割はこのあたりという線

先生の人生
私生活も
大切に

先生は指導のアロ

先生の人生
私生活も
大切に

先生の人生
私生活も
大切に

先生の人生
私生活も
大切に

先生の人生
私生活も
大切に

先生の人生
私生活も
大切に

先生の人生
私生活も
大切に

先生の人生
私生活も
大切に

先生の人生
私生活も
大切に

先生の人生
私生活も
大切に

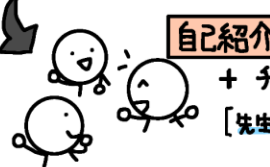


つなげる まえる 広げる

2025.8/6 信州学び円卓会議 ともつくミーティング

～長野県の教員を支え、子どもの学びを支えるために何ができるか～

子どもの学びをトコト支えるために、教員の荷を下す



自己紹介
+ チェックイン
[先生たち大変そうだな...]

行事 進路指導 不登校の子への支援
登下校指導 評価・成績 部活動
調査 アンケート 地域活動の準備 保護者対応
指導の仕方 会計業務

子どもたちが明るく元気に学ぶために
多くのみなさんと一緒に新しい学びを
つくっていききたい。そのためには
学校(先生)の負担感を軽減し、
地域の大人も一緒に支えていく
ことが大切。



長野県知事
阿部 守一

つなげる 支える 広げる

先生 PTA 大学生
CS 行政
保母者 議員
地域 フリースクール
多様な仲間と
いっしょに
アクション!
わたしたちを
主語に
ちがいを
楽しむ!
安心して
話せる

インスピレーショントーク 長野県の学校の働き方改革の現状について

- ・仕事の満足度(高) (教員向けアンケート・子どもの学びをトコト支える県民の会から)
- ・事務作業(多)・保護者の懸念への対応
- ・教職員の増員による学校規模縮小を望む(予算があれば...)
- ・受けた研修の日程が合わない

子どものために尽力しているが、業務の多忙化
「ゆめよい」とする方針の議論
(学校・教師が担う業務に係る3分類)
「できない」と言えない・多義に及ぶ個別対応
基本的には学校以外が
担う業務
地域とコーディネーター

あったらいいな・できたらいいな
自分・他のメンバーからできそう

あたたかく
熱い話し合い
ができた
↓
困り感と
できることを
発信して
いきたい!

作戦会議セッション①【共に創りたい未来】

教師もゆくり自分の時間を確保(1)
→仕事の優先順位・カエル会議・慣例を見直す!

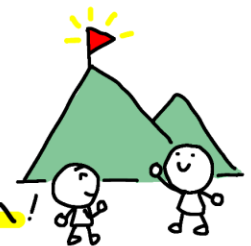
連携して いっしょに
CS(コミュニティスクール)としてもっと
学校と関わりたい
居場所も
地域活動は地域と計画
地域のリソースを活用!
地域が、かつり支える
変化を保護者も理解することが大切
(窓口・説明) 相談の機会
教育委員会が設置する中間教育を増やす

成績 通知表...
子どもが自己評価できる
システムを!
主体的に
自由進捗など
学びのあり方
こうします!

宣言も大切!
応援団P
会計のキャッシュ化/公会計化
調査を減らす(オンラインも活用)
ボランティア
部活動の地域移行
担当の先生の勤務を柔軟に
×時間外への対応

作戦会議セッション②【未来に向けたアイデア】

コミュニティルムの設置
↓
地域の方とのつながりを
深める
校長会と教育長で協議して方針決定
必要とするサポートの洗い出し(日常のちあとしたことも)
学力とは何か?イ中間と考える?
そのために
先生が元気でいられること
子どもたちのための働き方改革
顔を合せて、みんなで話し合い、実行していく
x6D
どうせダメだ
でも
だって
できない
どうしよう
(もう)ダメだ
だれかといっしょに。
方法はちがっても、同じゴールへ!



2025.9/24 信州学び円卓会議 ともつくミーティング

(子どもの学びをトコトン支える県民の会(9月3日))

テーマ 学校における働き方改革
(教員の荷を下ろすには?)



第2回開催

学びの「新しい当たり前」を共に創る



みんなが
アイディア
めたしが
できること
めたしを
主語

全体インフォット (教育委員会事務局教育政策課) ⇒

→ みんなで解決する必要

先生か子どもと
向き合えるように
保護者との
関係性
対話
チームで
人村
(福祉止む) (非公式)
より良い
対応
X 行きすぎた行為
グループ

グループワーク①

抱えこみ
すぎない
ように
失敗を受け
入れる
先生たち
から言えなかつたりする多
受け入れる
体制
(窓口も)
先生たちを
守る応援団に!

と「うすめは」負担を
減らせるのか?
文科省三分類
より良い
関係のため
(来校者のみなさまへ)
△メリット・デメリット
めめる
へるのは
ありがたい!!
勇気
(行事の精選・通知表)
(テスト)
△見せるため
○子どもの学びのため
学びは変わってきている!

ネットワーク
伴走支援

ウェルビーイング実践学校 欠員解消
TOCO-TON
調査 学校訪問のあり方
地域ぐるみで
何をしたらいい?
(お願いする!)

見守りや
防犯にも!
安心・居心地
地域の
場
少教制も

子どもが
真中に!

グループワーク②

学校のことを
もっと知りたい!
助け合いたい!
↓
PTAが味方だと
伝える!!
みんながまいる
若い先生を応援し
共に成長する!!

何人・何をいほしい?
(お手伝い連絡網)

しくみな回るための余裕が大切!
(校内の体制)

年間スケジュールの見直し
そして子どものことを
語り合える時間を
地域リソースもつかうため学校ごとの
設定が大切!

再創造!!
一旦やめてみる試行の-歩!! も😊

負担軽減と働きか
い
→ 働き方も様々
→ やりたいことができるように!!
学校から発信!! (手伝って!)
ゆるやかにつながる
(対応の機会)
向き合う時間
子どもが
真中に!

